

平成 27(2015)年度 教育デザインセンター年報

1. 本年度の運営体制

1) スタッフ

センター長（併）教授 犬塚文雄

専任教員

高木展郎，犬塚文雄，大島 聡，野中陽一，米澤利明，脇本健弘

兼務教員

堀内かおる（学校教育課程 課程長）

藤森民雄（大学院運営委員長）

津野 宏（附属高度理科教員養成センター）

客員教授

澤田丈嗣（神奈川県立総合教育センター）

田中保樹（横浜市教育委員会事務局）

椎名美由紀（川崎市総合教育センター）

山内康敬（相模原市立総合学習センター）

関口 満（横須賀市教育研究所）

主任研究員

三浦修一，白井達夫，山本金五，福島繁

事務補佐員 畑本久美子(edu-design@ml.ynu.ac.jp, 045-339-3481)

2) 部門構成

実践デザイン部門と研究デザイン部門の2部門で構成している。

3) 地域連携体制

神奈川県立総合教育センターを始め，横浜市教育委員会事務局，川崎市総合教育センター，相模原市立総合学習センター及び横須賀市教育研究所，との間で連携協定を結んでいる。

2. 研究活動

1) 「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築（平成 23～27 年度特別経費プロジェクト分—高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実—）」事業

(ア)教員養成フォーラムの実施

教員養成の在り方について広く議論を求めることを趣旨として，本事業の初

年度に始めた教員養成フォーラムの5回目（最終回）を、2016年1月30日、岩崎学園横浜西口1号館ホールにて開催した。

今回は、「次期学習指導要領の方向性とこれからの教員像」をテーマに、二つの内容で構成した。

【報告】 「学び続ける教師のために～神奈川の教員育成スタンダード」の作成について

【対談】 「3つのキー・ワード『アクティブ・ラーニング』『カリキュラム・マネジメント』『チーム学校』から読み解く、これからの学校教育と教員の育成」

《登壇者》大杉 住子（文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長）

高木 展郎（横浜国立大学教育人間科学部教授）

200名以上の参加者があり盛会であった。

(イ)学生・指導教員の学校への派遣と教員養成スタンダードの作成

今年度もまた、学生をST（スチューデント・ティーチャー）として、スーパーバイザー（退職校長）と共に拠点小学校並びに中学校に派遣する取組を行った。

また、4年間の研究成果を踏まえ、「横浜国立大学教員養成スタンダード」を完成させた。なお、学部から教職大学院まで、一貫した指標で学べるよう、「横浜国立大学教職大学院教員養成・育成スタンダード」の原案も作成した。

2) 「教職生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」

本センターと神奈川県教育委員会が連携・協働して教員育成に取り組む「教員生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」も3年目を迎えた。この検討会には、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の各教育委員会の指導主事と、神奈川県公立小・中学校の校長会・教頭会の代表が参加し、教員育成の在り方についての調査や提言を行っている。

本年度は、「横浜国立大学教員養成スタンダード」並びに「横浜国立大学教職大学院教員養成・育成スタンダード」の作成を受け、それと連動する指標を作成するという観点から、「学び続ける教師のために～神奈川の教員育成スタンダード～」を作成した。

この成果は、教員養成フォーラムで報告するとともに、作成したスタンダードを県内のすべての教員と指導主事に配付した。

3) 教育デザインセンタープロジェクト研究

～「不登校」に対応するチーム支援のあり方パンフレット作成プロジェクト～

神奈川県教委はじめ神奈川県内の教育委員会等と協働して、「平成27年度神奈川県生徒指導課題検討委員会」を設置し、学級担任や児童・生徒指導担当など不登校

対応の当事者を孤立させないような「チームとしての支援」を学校としてどう実現させていくかについて研究を進めた。その研究成果として、教員及び教職を目指す学生を対象としたA4版6ページのパンフレット『チーム学校で取り組むこれからの不登校対策』を作成した。そのパンフレットを42,000部印刷し、40,850部を県内34の教育委員会を通して、公立学校教員全員と教育関係者に配付した。また1,150部については、本学教育人間科学部の学生に平成28年度の関連授業を通して配付予定である。

パンフレットでは、①SSCやSC等を加えた専門性に基づくチーム体制の構築、②学校のマネジメント機能の強化、③教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備を目指し、「チーム学校」として不登校支援が進められるように、支援シートの活用法や教職員を中心に多様な専門性をもつスタッフとのケース会議の紹介ともに地域の支援ネットワークマップ等を提示した。

作成したパンフレットの活用法としては、主に①不登校対応・対策の基本の確認、②子供をチームで多面的に支援するための支援シート活用やケース会議など具体的手立ての確認、③不登校児童・生徒のための地域の支援ネットワークの確認、④不登校の早期発見のためのチェック、そして⑤不登校を未然防止するための生活ポイントの確認等を想定している。さらに、⑥共有化できた情報に対し、どのように理解し対処していったらよいか「チーム学校」で検討することにも活用することを想定している。

このパンフレットが、子どもたちの不登校について、教員がスクラムを組んで早期発見、未然防止、早期対応等に取り組む際の共通テキストとして、併せてチーム支援体制の構築に向けた基礎資料として有効活用され、子供たちのための「心の居場所づくり・絆づくり」に資することが期待できる。

3. 地域連携事業

1) アドバイザリースタッフ派遣事業

- ・アドバイザリースタッフ登録者名簿（別紙資料1）
- ・アドバイザリースタッフ派遣実績（別紙資料2）

2) 連携研修講座

①「発達障害のある子どもの行動問題への支援」研修講座

日 時：平成27年8月4日（火）9:30～12:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター302講義室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 渡部 匡隆 教授

受講者：72名

子どもの行動問題を理解する手立てとして、行動の直前および直後の状況と、子どもの行動との因果関係を分析する方法（ABC分析法）について理解した。そして、実際の行

動問題について、ビデオを視聴しながらインターバル記録法を用いて記録し、ABC分析法にあてはめ検討を行った。

②「いじめ不登校への対応」研修講座

日 時：平成27年8月4日（火）13:30～16:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター302講義室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター長 犬塚 文雄 教授

受講者：57名

いじめ・不登校問題の動向や四つの提案（予防に向けた「教育相談の機能」を發揮した授業づくり提案，早期発見に向けたチェックリスト活用の提案，保護者への対応に向けた提案，未然防止に向けたいじめ防止が強調された「特別の教科 道徳」授業づくりの提案）の講義とともにグループワークによる演習を行い，教育上の困難点の確認とその打開に向けた提案を作成した。

③企業から学ぶ「東京ディズニーリゾートをささえる『ホスピタリティ』」研修講座

日 時：平成27年8月6日（木）14:30～16:00

場 所：横浜国立大学教育人間科学部講義棟6号館101講義室

講 師：株式会社オリエンタルランド社員

受講者：217名

東京ディズニーリゾートを支える「ホスピタリティマインド」の考え方とキャストが実践している行動基準「4つの鍵」の取組等を学ぶことを通して，他者と効果的なコミュニケーションをとるためのポイントや学校での人間関係づくりに生かす方法について理解を深めた。

④「授業デザイン」研修講座

日 時：平成27年8月20日（木）13:30～16:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部事務棟3階第1会議室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 有元 典文 教授

受講者：59名

最新の学習理論にもとづいた授業デザイン・活動デザインの考え方を学ぶとともに，ワークショップやディスカッションを通して，「リスクを減らす支援に必要な学習環境のデザイン」の視点で授業づくり・活動づくりを考えた。

3) 講義, 公開講座

①学校教育最前線

教養教育科目「学校教育最前線」(対象学部: 共通、対象学年: 1～4)

< 講義テーマ一覧 >

1	4月6日(月)	高木 展郎	教授・教育デザインセンター	今、求められる学力とは
2	4月13日(月)	三浦 修一	主任研究員・教育デザインセンター	「評価」って何だ?
3	4月20日(月)	白井 達夫	主任研究員・教育デザインセンター	授業を変える
4	4月27日(月)	福島 繁	主任研究員・教育デザインセンター	最近の高校事情 ～定時制課程の現状～
5	5月1日(金)	澤田 丈嗣	客員教授・神奈川県立総合教育センター	インクルーシブ教育とは
6	5月11日(月)	田中 保樹	客員教授・横浜市教育委員会	授業力向上の鍵
7	5月18日(月)	関口 満	客員教授・横須賀市教育委員会	子どもが分かる授業づくり
8	5月25日(月)	椎名 美由紀	客員教授・川崎市教育委員会	ICT活用で楽しい授業づくり
9	6月1日(月)	山内 康敬	客員教授・相模原市教育委員会	人間関係を深める集団づくり
10	6月8日(月)	山本 金五	主任研究員・教育デザインセンター	授業づくりと学級経営
11	6月15日(月)	田中 保樹	客員教授・横浜市教育委員会	学力の向上を目指して ～学習評価を通して～
12	6月22日(月)	関口 満	客員教授・横須賀市教育委員会	子どもと考える授業づくり
13	6月29日(月)	椎名 美由紀	客員教授・川崎市教育委員会	子どもたちのインターネット利用
14	7月6日(月)	澤田 丈嗣	客員教授・神奈川県立総合教育センター	障害理解と授業づくり
15	7月13日(月)	山内 康敬	客員教授・相模原市教育委員会	科学的な見方や考え方は
	課題レポート	米澤 利明	准教授・教育デザインセンター	テーマ及び提出方法は、後日別紙にて提示します。

・教職実践演習

理工学部(担当: 脇本健弘), 経済学部・教育人間科学部人間文化課程(担当: 福島繁先生)を対象に実施。

○対面講義(クラス別)

10月9日(金)「教職履修カルテによる省察」

10月16日(金)「教職について(討論)」

12月18日(金)第15回 まとめ

○対面講義(全体で実施。教育人間科学部の他専攻も含む)

11月13日(金)「初任者のための児童生徒指導」

国士舘大学文学部専任講師 佐野泉先生

11月20日(金)「指導の改善に生かす学習評価」

教育デザインセンター主任研究員 白井達夫先生

11月27日(金)「初任者のための授業づくり,学級経営」

横浜市立日枝小学校校長 大内美智子先生

○学校観察

10月28日(水)学校見学1:神奈川県立相模原中等教育学校

11月9日(月)学校見学2:神奈川県立希望ヶ丘高等学校

4) 教員免許状更新講習

平成27年8月11日(火),12日(水)に神奈川県立総合教育センター,横浜市教育センター,川崎市総合教育センター,横須賀市教育研究所,相模原市立総合学習センターと大学をテレビ会議システムで結び,必修科目「教育の最新事情」を開講した。また,講習用テキストを開発した。

最終的な受講者数は,以下の通り。

定員 526名

申込 543名

出席 535名

欠席 8名

会場:横浜国立大学 142/135(出席/定員)

会場:神奈川県立総合教育センター 66/66

会場:横浜市教育委員会事務局 花咲研修室 103/100

会場:川崎市総合教育センター 97/100

会場:相模原市立総合学習センター 48/45

会場:横須賀市教育研究所 79/80

5) 全県指導主事講習

平成27年4月8日(水)に,「これからの時代における授業と評価」確かな学力を育てるためにー学習評価を踏まえた授業づくりのみちすじー(高木展郎教授)の講義を県内5会場(神奈川県,横浜市,川崎市,相模原市,横須賀市)の指導主事を対象にテレビ会議システムで配信した。別途,厚木でも18時より開催した。

6) 長期研究員講習

平成27年4月15日(水)に、『『思考力・判断力・表現力等』の育成の意味』(高木展郎教授)の講義を県内5会場(神奈川県,横浜市,川崎市,相模原市,横須賀市)の長期研究員を対象にテレビ会議システムで配信した。

7) 非常勤講師等研修会

神奈川県内の、現職で勤務している非常勤講師, 臨時的任用職員・非常勤講師として登録した者, 希望する臨時的任用職員を対象とした研修会を5月と10月に実施した。横浜国立大学での講義を同時に県内5会場(神奈川県,横浜市,川崎市,相模原市,横須賀市)にはテレビ会議システムで配信した。

<前期>

第1回目 5月13日(水)

講師: 附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「平成20年告示学習指導要領における新しい授業づくり～授業をどうするのか～」

第2回目 5月20日(水)

講師: 附属教育デザインセンター長 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を!ー」

第3回目 5月27日(水)

講師: 附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価～今・そしてこれからの授業観～」

<後期>

第1回目 10月13日(火)

講師: 附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「平成20年告示学習指導要領における新しい授業づくり～授業をどうするのか～」

第2回目 10月20日(火)

講師: 附属教育デザインセンター長 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を!ー」

第3回目 10月27日(火)

講師: 附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価～今・そしてこれからの授業観～」

8) 国語教育デザインフォーラム

本年度で3回目となる「国語教育デザインフォーラム」を, 平成27年8月17日に, 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校において開催した。過去2回同様, 講演や

シンポジウムなどは行わず，参加者がグループに分かれて日頃の実践や疑問について話し合い，そこで解決できなかった質問については全員で話し合うという方法で行われた。教育デザインセンターのスタッフはコメンテーターとなり，質問に対する見解を発言したり，これからの国語教育に向けた提案を行ったりした。90名ほどの参加者があり，盛況であった。

9) 教育実践フォーラム2016

2016年1月30日に教育実践フォーラム2016を開催した。

教員養成フォーラムと併せたテーマとして、『神奈川』発⇒『未来』行を掲げ，教育実践フォーラム2016では，「時代が求める学力と授業を考えよう」という交流会のタイトルに沿うように，川崎市立川中島小学校の「伝え合いを通して考える力を深める子を育てる授業づくり」と，鎌倉市立第一中学校の「支え合う人間関係づくりと学びを拓く授業づくり」のそれぞれの実践報告があり，それを受けて参加者全員によるワールドカフェスタイルの交流を行った。

二つの学校とも，授業改善を学校経営の柱と位置づけ，さまざまな取組をしている。校種は異なるが，目指すところは，知識偏重の学力ではなく，学習指導要領が求める「生きる力」を具現化する授業であり，このような取り組みを計画し実践するためには，学校が一体となって取り組む「チーム学校」という在り方が求められることは言うまでもない。

今回のフォーラムでは，次期学習指導要領の方向性についての議論も踏まえ，学校における実践の報告を抛り所として，参加者が課題を共有したり新たな取り組みの端緒を見出したりする機会を提供できた。

参加者からは，授業改善についての在り方を考えることができた，校種を超えた多くの方と交流ができ多様な考え方に接することができた，学校が組織として取り組むことの意味や方法について多くの示唆を得ることができた，などの声が寄せられた。

10) 附属学校教員の10年経験者研修

平成27年度は，受講者なし。

11) 「教師として成長し続けるために」の配布

教育デザインセンターのホームページからダウンロードを可能とした（パスワード別途配布）。配布先については，別紙資料3。

4. その他

1) 連携融合推進会議

ア) 平成27年度第1回 連携融合事業推進会議

日時：平成27年6月10日（水） 15:00～16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206 教室

(1) 学部長挨拶

(2) 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター 所長 北村公一

横浜市教育委員会事務局指導部長 兼 教育センター長 長谷川祐子

川崎市総合教育センター 所長代理 須山佳代子

相模原市立総合学習センター 所長 齋藤嘉一

横須賀市教育研究所 所長 武田 仁

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき

横浜国立大学教育人間科学部事務長 三浦法長

(3) 所員紹介

(4) 報告事項

①平成27年度全県指導主事講習について

②平成27年度長期研究員講習について

③平成27年度非常勤講師等研修会（1）について

④平成27年度教育デザインセンター実施の免許状更新講習について

⑤「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての経過報告

⑥平成26年度「教員生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」について

⑦平成26年度「神奈川県生徒指導課題検討委員会」について

(5) 協議事項

①平成28年度以降の連携融合事業推進会議の在り方について

②平成28年度以降の教育デザインセンターの事業について

(6) その他

①国語教育デザインフォーラムの開催について

②平成27年度「教員養成フォーラム」の開催について

③平成27年度「教育実践フォーラム2016」の開催について

イ) 平成27年度第2回 連携融合推進会議

日時：平成28年3月9日（水） 15:00～16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206 教室

(1) 学部長挨拶

(2) 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター所長

北村 公一

横浜市教育委員会事務局指導部指導主事室 首席指導主事

宮城 篤

川崎市総合教育センター 所長

芹澤 成司

横須賀市教育研究所 主査指導主事

一柳 直行

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき
横浜国立大学教育人間科学部 事務長 三浦法長

(3) 所員紹介

(4) 報告事項

①平成 27 年度教育デザインセンター事業報告

- ・アドバイザースタッフ派遣事業について
- ・全県指導主事講習について
- ・長期研究員講習について
- ・非常勤講師等研修会（1）（2）について
- ・連携研修講座について
- ・教員養成フォーラム・教育実践フォーラム 2016 について
- ・国語教育デザインフォーラムについて
- ・教育デザインセンター実施の教員免許状更新講習について

②「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての報告

③連携協力による研究事業の推進

- ・神奈川県生徒指導課題検討委員会について
- ・「教員生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」について

(5) 協議事項

①アドバイザースタッフ派遣事業の確認事項について

②平成 28 年度 全県指導主事講習について

③平成 28 年度 長期研究員講習について

④平成 28 年度 非常勤講師等研修会について

⑤平成 28 年度 連携研修講座について

⑥平成 28 年度 教員免許状更新講習について

⑦連携協力による研究事業の推進について

(6) その他

2) 国立大学教育実践研究関連センター協議会

第 87 回国立大学教育実践研究関連センター協議会の主催校として、総会・部門会議をおこなった。

(1) 総会

日時：平成 27 年 9 月 24 日（木）10:30～15:00

会場：横浜国立大学教育人間科学部講義棟 8 号館 101

① 開会

- ・開会あいさつ
- ・主催校あいさつ

② 講演

「学習指導要領改訂と教員養成大学・学部－成熟社会に相応しい学校教育に向けて－」

文部科学省初等中等教育局教育課程課長 合田哲雄 氏

③ 議事・報告

- ・議事録確認（事務局）
- ・2014年度会計収支報告（事務局）
- ・2014年度部門報告／2015年度部門計画（各部門担当幹事）
- ・2015年度事業計画
- ・その他

④ 情報交換・意見交換

⑤ 閉会

- ・次回の開催について
- ・閉会あいさつ

(2) 部門会議

日時：平成27年9月24日（木）15:00～17:00

<教育臨床部門>会場：講義棟8号館107

<教育実践・教師教育部門>会場：講義棟8号館101

<教育工学・情報教育部門>会場：講義棟8号館106

(別紙資料1)

平成27(2015)年度 アドバイザリースタッフ登録者一覧

所 属	氏 名	専 門 分 野
センター専任	高木 展郎	学習評価, 教育課程, リカレント教育等
	大島 聡	情報教育, 教育工学, 遠隔授業等
	犬塚 文雄	生徒指導の各種(個別支援・集団支援・チームサポート)などのプログラム開発特別活動領域での社会性育成プログラムの開発
	野中 陽一	ICT活用による授業改善, 教育方法の工夫・改善, 学校システムの改善等
	米澤 利明	教育課程, 学校経営
センター研究員	三浦 修一	学校教育全般, 学校経営, 国語科教育
	白井 達夫	学校教育全般, 学校経営, 国語科教育
	山本 金五	学校教育全般, 学校経営, 社会科教育
	福島 繁	学校教育全般, 学校経営
学校教育講座	新井 秀明	教育行財政学, 教育法
	有元 典文	学習心理学・認知心理学(学習環境のデザイン, 学習に関する相談一般, コンピュータ利用教育)
国語・日本語講座	高木 まさき	国語科教育
	河野 俊之	日本語教育, 日本語教師養成, 音声教育
	青山 浩之	国語(書写)教育, 書道教育, 言語文化系教育
	三宅 晶子	古典文学, 能・狂言, 古典芸能, 古典教育, 伝統的言語文化教育
社会科教育講座	重松 克也	社会科授業づくり, 社会科授業分析
	多和田 雅保	日本近世史, 地域史研究法, 歴史資料調査法
	棚橋 信明	ヨーロッパ近現代史, 歴史教育, 記念碑文化
数学教育講座	馬場 裕	大学入試問題の解説中学・高校の数学カリキュラムの解説, 中学・高校において数学が役立っていること
	石田 淳一	小学校算数科教育の指導内容・指導方法・評価方法など
	山本 光	離散数学, 数学活用, 情報モラル, 著作権法入門
理科教育講座	森本 信也	理科の教授論, 学習論, 評価論
	加藤 圭司	小・中学校の理科授業構築やカリキュラム構成と評価環境教育を中心とした総合的な学習の授業づくり
	鈴木 俊彰	化学・化学実験に関すること全般
	西 栄二郎	生物教育, 環境教育, 自然史博物館や動物園を利用した総合学習など
	平島 由美子	小・中学校理科(物理分野)での実験とものづくり
	津野 宏	地球・環境化学, 化学教育
生活科教育講座	西村 隆男	消費者教育に関する教員啓発, 実践支援金融など家庭経済に関する成人向け講話など
	金馬 国晴	生活科, 総合的な学習, カリキュラムの全体構成ワークショップ型・参画型授業
音楽教育講座	小川 昌文	音楽科教育, 音楽授業実践アメリカ合衆国の音楽教育(授業, 教員養成, カリキュラム論)
	中嶋 俊夫	音楽科教育法, 歌唱指導法, イタリア歌曲指導法

所 属	氏 名	専 門 分 野
美術教育講座	大泉 義一	造形教育研究, 授業研究, デザイン教育研究
	小池 研二	中学校美術科の授業実践, 鑑賞教育
保健体育講座	海老原 修	体育科学/健康科学
	田中 英登	熱中症の予防, 生活環境と発育発達
	伊藤 信之	陸上競技, トレーニング論, コーチング論, バイオメカニクス
	物部 博文	保健学習, 健康教育
	梅澤 秋久	小学校における「かかわり合い」の授業づくり, 体育科教育, 健康教育
技術教育講座	但馬 文昭	中学技術における計測・制御
	横尾 恒隆	技術教育史, 技術教育の国際比較, 技術科教育実践論
	小林 大介	木材加工学, 木材科学, 木のものづくり指導
	坂本 智	機械加工, 金属加工
	鬼藤 明仁	技術科教育, 情報教育
家政教育講座	堀内 かおる	家庭科教育, 参加型学習(ワークショップ)の方法論, ジェンダーと教育
	杉山 久仁子	食生活に関する問題についての講義, 実験, 実習
	薩本 弥生	衣服の役割, 衣服の快適性等衣生活に関すること
	工藤 由貴子	家庭科教育, 生活経営学, 家族関係学
英語教育講座	佐野 富士子	第二言語習得論, 教室における第二言語習得リーディングとライティングの統合的指導, アウトプットとしてのライティング研究
特別支援教育講座	中川 辰雄	聴覚障害教育, 聴覚管理, オーディオロジー
	渡部 匡隆	発達障害児への個別指導・支援計画の立案・実施・評価支援目標の課題分析・ABC分析・支援の手だてについて
臨床心理学講座	鈴木 朋子	臨床心理学, 心理検査を用いた心の理解, 保護者への対応を考える
人間文化課程	安藤 孝敏	児童・生徒と高齢者の世代間交流高齢化教育(エイジング教育)
	高橋 弘司	「新聞の読み方」「ニュースの見方」「わかりやすい文章の書き方」また他にイスラム事情, 中東地域政治, 広島・長崎被爆者問題と核問題, インドシナ難民問題など

(別紙資料2)

平成27(2015)年度 アドバイザリースタッフ派遣実績

※実施希望日順に掲載しています

	講師	実施 希望日	依頼者	依頼内容				
				講演	ワー クシ ョッ プ	指 導 助 言	研 究 相 談	そ の 他
1	渡部 匡隆	4月22日	神奈川県立総合教育センター			○	○	調査・研究「個別教育計画を活用した指導の充実に 関する研究」①
2	犬塚 文雄	5月7日	神奈川県立総合教育センター			○		神奈川県立総合教育センター アドバイザリー会議①
3	三浦 修一	5月22日	神奈川県立総合教育センター	○				新任教頭研修講座(小・中学校)
4	中川 辰雄	5月22日	横浜市立平沼小学校			○		児童の補聴器のフィッティングの助言
5	渡部 匡隆	5月27日	川崎市立田島支援学校	○				今年度「授業改善ー今できていることを生かしてー」を テーマに研究を行っていく本校教職員への助言
6	白井 達夫	6月1日	座間市立中原小学校		○	○	○	「自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成」という 研究主題のもと行う研究授業への指導・助言(1回目)
7	高木 展郎	6月2日	神奈川県立総合教育センター	○				新任教頭研修講座(県立学校)
8	白井 達夫	6月2日	川崎市立生田小学校				○	子どもたちに授業の中で思考力・表現力・判断力等を身 につけさせるための授業の手立てや指導法
9	石田 淳一	6月10日	横浜市立矢上小学校	○				算数における学習の習熟度に応じた支援の仕方や苦手 意識を克服するような算数の面白さを感じられる授業等
10	物部 博文	6月11日	神奈川県立横浜清陵総合高等学 校	○				1年次性感染症予防講演会 1年生 280名程度
11	犬塚 文雄	6月15日	横浜市立瀬谷中学校	○	○	○		「生徒指導と道徳教育について」講話(演習含む)
12	物部 博文	6月18日	神奈川県立有馬高等学校	○				1年生に対する性感染症予防講演会
13	物部 博文	6月22日	神奈川県教育委員会湘南三浦教 育事務所	○				学校体育・健康教育研修会での講演「生活習慣改善か ら健康・体力向上へのアプローチ(仮題)」
14	三浦 修一	6月22日	寒川町立小谷小学校			○	○	「思いや考えを伝え合う力の育成を目指して」をテーマ とした校内研究への指導助言・研究相談
15	有元 典文	6月23日	神奈川県立座間高等学校	○				2年生を対象に薬物乱用防止講演会
16	三浦 修一	6月23日	小田原市教育委員会	○				小田原市内の小・中学校の先生を対象にした国語科の 学習指導法研修会での講演
17	白井 達夫	6月23日	川崎市立新城小学校	○		○	○	国語と社会、理科の授業研究における指導講評①
18	有元 典文	7月中旬	県立学校保健会 県央地区支部 県立大和西高等学校長	○				県央地区養護教諭対象に「高校の薬物教育について (仮)」をテーマとした講演
19	野中 陽一	7月22日	川崎市立有馬小学校	○	○		○	本校では授業のICT化を進めるための職員向けの講 演、指導助言など
20	三浦 修一	7月22日	綾瀬市教育研究所			○	○	授業改善研究会での指導助言及び研究相談。研究 テーマ「つまづきを克服するための授業改善」(1回目)
21	石田 淳一	7月23日	横浜市立上矢部小学校	○	○	○	○	「自他を大切に、認め合える子どもを目指して」を研究 主題に算数を研究。それに対する講演、指導助言など
22	中川 辰雄	7月27日	横浜市立八景小学校			○		補聴器フィッティングの評価と指導についておよび片耳 難聴について
23	青山 浩之	7月29日	横浜市教育委員会	○				小中学校における書写指導の基礎・基本についての講 義

	講師	実施希望日	依頼者	依頼内容				
				講演	ワークショップ	指導助言	研究相談	その他
24	白井 達夫	7月31日	厚木市立南毛利小学校	○				校内研究研修会での講話「学び合い」の視点で、意義・具体的な方法等について
25	馬場 裕	8月5日	神奈川県立総合教育センター	○				「課題学習」にいかす数学研修講座～数学の有用性について考える～
26	三浦 修一	8月10日	神奈川県立川崎高等学校	○	○			求められている学力(学力観の変容)、言語活動の重要性、言語活動を充実させるための工夫について
27	三浦 修一	8月18日	小田原・足柄下地区中学校教育研究会 国語部会	○	○			小田原・足柄下地区の中学校国語科教諭対象の夏季研修会での講演「充実した研究協議のあり方」について
28	馬場 裕	8月19日	神奈川県教科研究会数学部会研修委員会	○	○	○	○	平成27年度の入試問題の解説と分析平成28年度の入試の展望および質疑応答
29	中川 辰雄	8月21日	川崎市立川中島中学校	○				聴覚障害のある生徒に対して有効な、授業内での支援の方法
30	堀内 かおる	8月23日	神奈川県立総合教育センター	○				高校生のための就職セミナー講義「教職課程について」
31	高木 まさき	8月24日	神奈川県立総合教育センター	○				確かな学力を育む教科指導研修講座1 小学校国語
32	白井 達夫	8月24日	川崎市立御幸小学校	○				これからの国語科の授業における指導方法
33	白井 達夫	8月27日	平塚市立松延小学校	○	○		○	国語の教科指導における基本や、子ども達が自分の思いや考えを進んで表現するための具体的な手立てなど
34	高木 展郎	8月31日	川崎市小学校教育研究会	○				校長対象の研修会での講演(「アクティブラーニングの概要」や道徳、英語の教科化等、最近の教育の動向)
35	有元 典文	9月1日	相模原市教育委員会 総合学習センター	○				学校(学級)生活、授業におけるユニバーサルデザインについて
36	白井 達夫	9月3日	横浜市立菊名小学校			○	○	国語科の授業に参観し、指導・助言をおこなう
37	高木 展郎	9月7日	神奈川県立総合教育センター	○				新任校長研修講座(小・中学校)
38	白井 達夫	9月8日	川崎市立新城小学校	○		○	○	国語と社会、理科の授業研究における指導講評②
39	白井 達夫	9月9日	川崎市立西丸子小学校			○		国語科校内授業研究会の講師として、指導および助言
40	高木 展郎	9月10日	平塚市立中原小学校	○			○	「つなげる」授業の大事な視点や実践などについて
41	三浦 修一	9月10日	寒川町立小谷小学校			○	○	校内研究全体会を実施に向けて、提案授業の参観およびその後全体会での指導助言
42	米澤 利明	9月14日	相模女子大学中学部 高等部	○	○			「育てたい(社会から求められている)生徒像」などについての話し合いでの指導助言など
43	白井 達夫	9月15日	平塚市立なでしこ小学校	○		○		授業を参観後、指導助言と学校研究のテーマに関する講話
44	犬塚 文雄	9月17日	神奈川県立総合教育センター	○				初任者研修講座課題解決力向上<対象:高・中等>①
45	金馬 国晴	9月18日	横浜市立中川小学校			○		授業研究の参観と事後検討での指導助言①
46	中川 辰雄	9月18日	横浜市立八景小学校			○		中等度難聴児童の補聴器のフィッティングについて
47	犬塚 文雄	9月24日	神奈川県立総合教育センター	○				初任者研修講座課題解決力向上<対象:高・中等>②
48	三浦 修一	9月30日	綾瀬市教育研究所			○	○	授業改善研究会での指導助言及び研究相談。研究テーマ「つまづきを克服するための授業改善」(2回目)

	講師	実施希望日	依頼者	依頼内容				
				講演	ワークショップ	指導助言	研究相談	その他
49	白井 達夫	10月2日	川崎市立中原小学校			○		校内研究会の講師
50	有元 典文	10月7日	横浜市立新井中学校		○			小学校6年生から中学校2年生までの3学年縦割りの小中連携キャリア教育
51	三浦 修一	10月9日	寒川町立小谷小学校			○	○	校内研究全体会を実施に向けて、提案授業の参観およびその後全体会での指導助言
52	白井 達夫	10月19日	座間市立中原小学校		○	○	○	「自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成」という研究主題のもと行う研究授業への指導・助言(2回目)
53	三浦 修一	10月20日	綾瀬市教育研究所			○	○	授業改善研究会での指導助言及び研究相談。研究テーマ「つまづきを克服するための授業改善」(3回目)
54	三浦 修一	10月23日	神奈川県立川崎高等学校			○		授業見学と研究協議(助言、意見交換)
55	白井 達夫	11月10日	平塚市立なでしこ小学校	○		○		学校研究のテーマに関する助言
56	中川 辰雄	11月16日	川崎市立聾学校			○		本校の幼児・児童・生徒に地手張力測定の助言およびフィッティング①
57	白井 達夫	11月17日	川崎市立新城小学校	○		○	○	国語と社会、理科の授業研究における指導講評③
58	三浦 修一	11月20日	神奈川県立総合教育センター	○				新任副校長研修講座(県立学校)
59	渡部 匡隆	11月25日	神奈川県立総合教育センター			○	○	調査・研究「個別教育計画を活用した指導の充実に関する研究」②
60	中川 辰雄	11月26日	川崎市立聾学校			○		本校の幼児・児童・生徒に地手張力測定の助言およびフィッティング②
61	米澤 利明	12月1日	逗子市立沼間中学校	○	○	○	○	校内研究会における研究授業後の指導・助言、ならびに今後の研究の進め方のアドバイス等
62	加藤 圭司	12月2日	横浜市教育研究会 理科部会			○		横浜市教育研究会理科部会の授業研究(発表)での指導助言
63	三浦 修一	12月3日	寒川町立小谷小学校			○	○	校内研究を推進するにあたり、提案授業の参観、およびその後全体会においての指導助言
64	鈴木 俊彰	12月8日	横浜市立権太坂小学校			○		理科の公開授業について
65	三宅 晶子	12月11日	南足柄市立南足柄中学校	○		○		講演「思考力、判断力、表現力が高まる指導法」。教師の授業改善の必要性や、求められる授業力について
66	物部 博文	12月16日	神奈川県立城郷高等学校	○				高校生対象の性に関する講演会の講師(人数は870名)
67	有元 典文	12月16日	神奈川県立大和南高等学校	○				「薬物乱用防止教室」での講演。薬物の危険性や常習性の恐さなどの知識や身近な問題であることへの認識など
68	白井 達夫	12月17日	川崎市立新城小学校	○		○	○	国語と社会、理科の授業研究における指導講評④
69	物部 博文	12月17日	神奈川県立平塚農業高等学校	○				薬物乱用防止講演会(1年生対象)
70	物部 博文	12月18日	神奈川県立麻生高等学校	○		○		高校1年生を対象に、エイズや性感染症の危険や予防等に関する講演
71	三浦 修一	12月18日	綾瀬市教育研究所			○		授業改善研究会における指導助言(小・中学校におけるつまづきを克服するための授業改善研究について)
72	白井 達夫	1月6日	川崎市立東生田小学校	○	○			新学習指導要領の流れ及び教育課程デザイン・授業デザインの在り方について
73	高木 展郎	1月14日	川崎市立高津高等学校	○		○	○	「総合的な学習の時間」の研究授業の参観および、講評。「アクティブ・ラーニング」などについての講演

	講師	実施希望日	依頼者	依頼内容					
				講演	ワークショップ	指導助言	研究相談	その他	
74	白井 達夫	1月15日	川崎市立新城小学校	○		○	○		本校校内研究の授業研究会の講師
75	梅澤 秋久	1月18日	川崎市立片平小学校					○	「子ども同士のかかわり」「学び続ける子」をテーマとした校内研究における、体育学習の中での実践、指導など
76	犬塚 文雄	1月19日	神奈川県立総合教育センター			○			神奈川県立総合教育センター アドバイザリー会議②
77	三浦 修一	1月21日	寒川町立小谷小学校			○	○		校内研究全体会を実施するにあたり、提案授業の参観およびその後の指導助言
78	渡部 匡隆	1月27日	神奈川県立総合教育センター			○	○		調査・研究「個別教育計画を活用した指導の充実に関する研究」③
79	石田 淳一	2月10日	相模原市教育委員会 学校教育課	○					
80	金馬 国晴	2月12日	横浜市中川小学校			○			授業研究の参観と事後検討での指導助言②
81	白井 達夫	2月15日	座間市立中原小学校		○	○	○		「自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成」という研究主題のもと行う研究授業への指導・助言(3回目)
82	物部 博文	2月19日	中井町立中井中学校	○					講演「エイズ・性感染症予防講座」
83	物部 博文	2月23日	茅ヶ崎市立梅田中学校	○					卒業前の3年生に対して、エイズを含めた性感染症に関する知識・理解を深めるための講演
84	物部 博文	3月15日	神奈川県立商工高校	○					講演のねらいとしては人間の尊重、男女平等の精神に基づく豊かな人間関係を築くことができるようにすること

教育機関名	派遣回数	案件数	派遣箇所
教育委員会	23回	18件	7箇所
小学校	34回	28件	21箇所
中学校	7回	7件	7箇所
中等教育学校	0回	0件	0箇所
高等学校	12回	12件	11箇所
特別支援学校	3回	2件	2箇所
その他教育機関	5回	5件	5箇所
	84回	72件	53箇所

(別紙資料3)

平成27(2015)年度 「教師として成長し続けるために」ほか
各資料のダウンロード用パスワード送付一覧

【資料名】『教師として成長し続けるために』

	ダウンロード用パスワード送付先(所属)	認知経路
1	神奈川県立総合教育センター 教育事業部 教職キャリア課	
2	神奈川県立総合教育センター 教育事業部 教職キャリア課	全県指導主事講習
3	横須賀市教育委員会事務局 学校教育部 教育研究所	
4	神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課	全県指導主事講習
5	富士・東部教育事務所	『変わる学力、変える授業』
6	神奈川県教育委員会東大教育事務所 指導主事	
7	茨城県石岡市教育委員会 教育総務課 指導室	
8	青森県総合学校教育センター 高校教育課 指導主事	『変わる学力、変える授業』
9	神戸市教育委員会事務局 指導部指導課	『変わる学力、変える授業』
10	新潟県立教育センター 所長	デザインセンターHP
11	新潟県立教育センター	
12	沖縄県教育庁 義務教育課	『変わる学力、変える授業』
13	新潟県教育庁上越教育事務所 学校支援第2課 指導主事	
14	三重県教委委員会事務局 研修推進課	
15	城里町教育委員会事務局	『変わる学力、変える授業』
16	国立教育政策研究所 教育研究情報センター総括研究室	
17	石川県能美郡川北町立中島小学校	『変わる学力、変える授業』
18	静岡県三島市立西小学校 校長	『変わる学力、変える授業』
19	横手市立金沢小学校	
20	高槻市立富田小学校	
21	大阪市立喜連東小学校	
22	滋賀県甲賀市立貴生川小学校 教頭	『変わる学力、変える授業』
23	茨城県古河市立古河第七小学校 教頭	『変わる学力、変える授業』
24	茅ヶ崎市立西浜小学校	『変わる学力、変える授業』
25	相模原市立上溝小学校	『変わる学力、変える授業』
26	伊勢崎市立殖蓮第二小学校	
27	茅ヶ崎市立柳島小学校	
28	浦安市立浦安小学校 教頭	
29	新潟県柏崎市立比角小学校	
30	広島県 府中町立府中東小学校	『変わる学力、変える授業』
31	広島県 府中町立府中東小学校	『変わる学力、変える授業』
32	三島市立錦田小学校	『変わる学力、変える授業』
33	青森県東北町立第一小学校 教頭	青森県総合学校教育センターの教頭研修講座
34	青森県おいらせ町立百石小学校	青森県総合学校教育センターの教頭研修講座
35	新潟県上越市立黒田小学校	
36	新潟県上越市立上下浜小学校	
37	上越市立里公小学校 校長	
38	上越市立清里小学校 校長	
39	上越市立豊原小学校	
40	徳島県徳島市八万小学校 事務室長	
41	大和市立大和小学校	
42	神奈川県山北町立山北中学校 教諭	全県指導主事講習
43	三浦市立南下浦中学校 校長	
44	三浦市立初声中学校 教頭	
45	平塚市立神明中学校 教頭	新任教頭研修会
46	川崎市立菅中学校	デザインセンターHP

	ダウンロード用パスワード送付先(所属)	認知経路
47	兵庫県三田市立八景中学校 校長	
48	狛江市立狛江第二中学校 校長	
49	広島修道大学附属鈴峯女子中学校 教頭	
50	大磯町立大磯中学校 校長	
51	石川県津幡町立津幡南中学校	
52	青森県八戸市立是川中学校	
53	群馬県 川場村立川場中学校 教頭	
54	新潟県上越市立頸城中学校	教員養成フォーラム
55	川崎市立菅生中学校 職員	
56	上越市立清里中学校 校長	
57	上越市立城東中学校	『変わる学力 変える授業』
58	群馬県前橋市立大胡中学校	
59	上越市立柿崎中学校	
60	鎌倉市立深沢中学校	
61	横須賀市立坂本中学校 校長	
62	神奈川県立磯子工業高等学校 教諭	長期研究員講習
63	神奈川県立麻生高等学校	
64	県立商工高等学校	
65	川崎市立高津高等学校	『変わる学力、変える授業』
66	山梨大学教職大学院	
67	慶應義塾大学 教職課程センター 訪問研究員	附属横浜中学の研究会
68	神奈川大学人間科学部 非常勤講師	
69	上越教育大学大学院 学校教育研究科 特任教授	
70	鳴門教育大学教職大学院 教授	上越教育大学大学院の教授からの紹介
71	文京学院大学	

【資料名】学び続ける教師のための5つの提言

	ダウンロード用パスワード送付先(所属)	認知経路
1	秋田県総合教育センター 教科・研究班 主任指導主事	
2	茨城県石岡市教育委員会 教育総務課 指導室	
3	新潟県立教育センター 所長	デザインセンターHP
4	高槻市立富田小学校	
5	大阪市立喜連東小学校	
6	茅ヶ崎市立西浜小学校	『変わる学力、変える授業』
7	三島市立錦田小学校	『変わる学力、変える授業』
8	三浦市立南下浦中学校	非常勤講師等研修会
9	茅ヶ崎市立円蔵中学校 元校長	
10	大磯町立大磯中学校 校長	
11	群馬県 川場村立川場中学校 教頭	
12	神奈川県立麻生高等学校	
13	県立商工高等学校	
14	慶應義塾大学 教職課程センター 訪問研究員	附属横浜中学の研究会

【資料名】確かな学力を育てるために 解説編

	ダウンロード用パスワード送付先(所属)	認知経路
1	川崎市総合教育センター カリキュラムセンター	
2	横須賀市教育委員会 学校教育部	
3	三島市立錦田小学校	『変わる学力、変える授業』